

2月2日(日)の夜、犬山市役所で「場リスタ(場づくりマスター)養成講座」第2回を開催。参加者は、受講生に事務局スタッフもあわせて34名でした。

この日のテーマは「知恵を集める会議術(コンセンサス)」。まずは、受講生2人のアイスブレイクで和んだあと、アイコトバ法を使って5つのグループに分かれ、「合意形成の大切さを学ぶシミュレーションゲーム」を行いました。

休憩をはさんで後半は、KJ法を学ぶグループワーク。話し合いや対話の場での困りごとを、「参加者として」、「運営者として」の両面から抽出整理したあと、その中から、「とくに聞いてみたい質問」トップ3を選び、他のグループがその問いに対する回答・助言を考える相互コンサルティングをして発表しました。

2月2日(日) 18:00~21:00 犬山市役所にて コンセンサス 知恵を集める「会議術」

2

プログラム

1. あいさつ&前回のふりかえり
2. 今夜のアイスブレイカー
3. グループ分け
4. 合意形成シミュレーションゲーム
5. グループワーク
「対話の場づくり。質問箱」
～課題解決コンサルティング～

1 今夜のアイスブレイカー

受講生2人によるアイスブレイク。カラダもココロも和んで笑顔いっぱい

ガチャ「肩たたき」



2 グループ分け 属性が近い人どうし 集めてからアイコトバで分けるとバランス good!



メンバーを事前に分けておくか、その場で分けるか？
メリットデメリットを考えたうえで
ふさわしい方法を！



ゆうちゃん「階段式自己紹介」

3 合意形成シミュレーションゲーム

合意形成で大事なこと！

- 1 十分に納得するため、しっかり話し合う！
- 2 自分の判断に固執しすぎて、他の人を言い負かすためのあげつらいはしない！
- 3 多数決や平均点の算出など、安易な方法や葛藤を避ける方法はしない。
- 4 結論を急ぐあまり、安易な妥協はしない
- 5 少数意見は決定の妨げでなく考え方の幅を広げてくれるもの。尊重しよう！
- 6 論理的な思考だけでなく、メンバーの気持ちやグループの動きにも配慮しよう！

月に不時着してしまった宇宙船の乗組員が、生き残るために必要な道具の優先順位を考えるゲーム。チーム対抗で挑戦！グループで話し合うことで、多面的な見方ができ、より良い結果にたどりつくことを実感しました。

話し合いの流れ 話し合いは、①前提の共有→②アイデアの発散→③収束(意思決定)→④結果の共有、という流れ。

- ★前提共有や発散の広がり・深さによって、収束の仕方が違ってくる。
- ★収束の際に、意思決定の「基準」を明確にすると、まとまりやすい。
- ★最後の結果共有が大事！結果を確認し、今日やったことにどんな意味があって、次回までに何をどうするかまで共有！積みあがる。



4 グループワーク「対話の場づくり。質問箱」～課題解決コンサルティング～

グループごとに、KJ法を使って、話し合いや対話の場での困りごとを、「参加者として」、「運営者として」の両面からアイデア出し整理したあと、「とくに知りたい質問」3つを選び、他グループが解決方法やヒントを考え、お互いに発表し合いました！



Q 盛り上がりすぎて下がりすぎても、結局まとまらない！

A ・時間配分。「まとめる時間帯」を設ける。

Q 話し過ぎる人、話さない人のバランスをどう取る？

A ・話し過ぎる人には、制限時間を！
・話したくない人は話さなくてもOKという雰囲気をつくる！
・みんなに書いてもらう。それで出してもらう

Q 暴走人間を止めるには？

A ・ハード的解決！（タイマー、ベルの活用）
・ルールで解決！（発言時間を決める）
・暴走には暴走を！（同じ程度の暴走者を同じグループにする）



Q 意見のぶつかり合いを避ける空気をどう解消する？

A ・クールダウン
・アイスブレイク（体を動かす）
・何でもOK!と促す
・反対意見は考えの幅を広げてくれると伝える



Q 受動的な人に積極的に発言してもらうには？

A ・KJ法でみんな発言、貼り出し
・グループの役割に声掛け役を
・褒め、拍手、「ありがとう」



Q 年齢・価値観・収入が違いすぎる人達の意見をどうまとめるか？

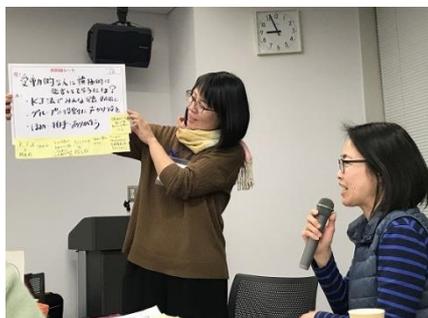
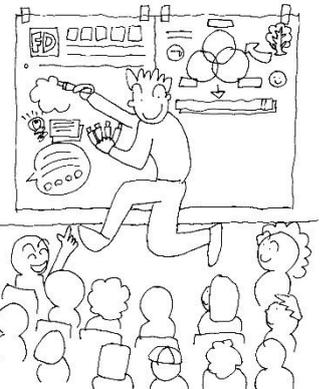
A ・年齢・価値観・収入を書いてもらいシャッフルしてその立場で発言
・カード（年・価値・収入など）を用意しておき、立場で発言

Q 組長がやってきた！

A ・組長にアイスブレイカーになってもらう
・組長も孤独。みんなの意見も聞いてみたい（はず）

Q 「振り出し！」決まりかけたのに話を戻す人！

A ・意見を見える化する
・前提条件、「振り出し禁止！」のルールを見えるようにあらかじめ貼っておく！



KJ法 ふせんを使って話し合うKJ法は、短時間で効率的にたくさんの人のアイデアを出し、体系化できる方法。読み上げながら貼り出したあと、グルーピングしたり見出しをつけたり、イラストを描いたり構造化して、みんなの知恵を「見える化」していきます。

問いの立て方

「問いの立て方」は大事！
考えてみたくなる魅力的な「問い」だと、出されるアイデアの質も量も変わってくる！



クリエイティブに「読みたくなるようなタイトルに！」「他班に負けないうビジュアルに！」など、同じ作業でもよりクリエイティブになるようファシリテートするだけで、グループの士気が高まり、結果が大きく変わる！

ひとことアンケートより

場のつくり方として、相手を知ることの大切さを実感しました／グループ内で話し合うことで正解に近づけたこと。おもしろかった！／少数意見は考えの幅を広げてくれる。より耳を傾けたい！／参加者としてもっとできること、反対に気をつけようと思ったことを、WSを体験しながら振り返ることができました／問いに工夫すること ほか

犬山市 地域安全課 (担当: 田原、島内)
☎ 0568-44-0346
Mail: 010400@city.inuyama.lg.jp